

東北地方 3か月予報

(12月から2月までの天候見通し)

平成22年11月25日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

この期間の日本海側の降雪量は、平年並または少ない確率ともに40%です。

12月 東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べ曇りや雪または雨の日が多いでしょう。

1月 東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

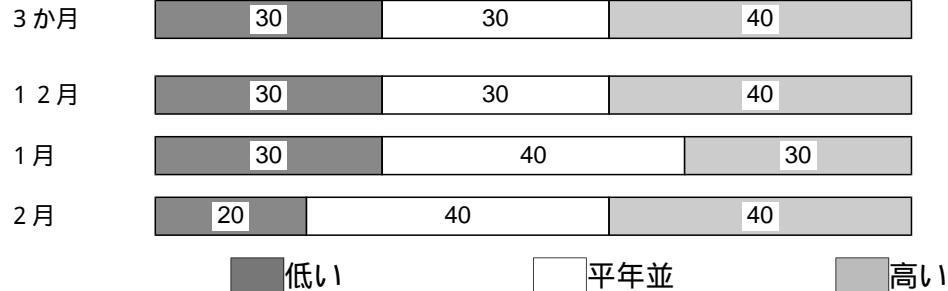
2月 東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう3か月の気温、降水量、降雪量の各階級の確率(%)>

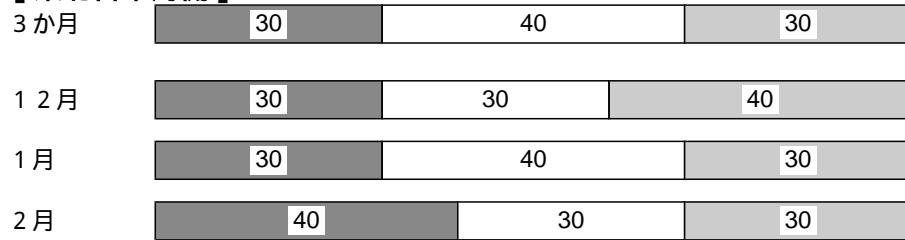
<<気温>>

[東北地方]



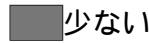
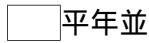
<<降水量>>

[東北日本海側]



[東北太平洋側]

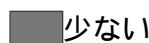
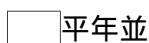


少ない 平年並 多い

<<降雪量>>

[東北日本海側]



少ない 平年並 多い

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は11月26日

3か月予報：12月22日(水) 14時

12月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。
なお、寒候期予報として発表していたこの冬(12月～2月)の予報については、今回の3か月予報等最新の予報をご利用ください。

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（1）平年値（月・3か月平均気温、降水量、日照時間、降雪量）

	気温()				降水量(mm)				日照時間(時間)			
	12月	1月	2月	12月～2月	12月	1月	2月	12月～2月	12月	1月	2月	12月～2月
青森	1.3	-1.4	-1.1	-0.4	148.6	144.9	116.0	408.4	54.7	56.7	72.9	184.1
深浦	2.5	-0.4	-0.2	0.6	126.2	96.9	77.3	299.4	34.3	31.3	48.8	114.2
むつ	1.2	-1.6	-1.5	-0.6	93.3	96.0	84.9	273.6	73.7	77.0	91.8	242.4
八戸	1.6	-1.2	-0.9	-0.1	41.7	48.2	52.7	141.8	128.4	134.5	131.8	395.6
秋田	2.8	-0.1	0.2	1.0	163.8	114.4	92.0	370.0	47.6	44.6	65.6	157.8
盛岡	0.8	-2.1	-1.6	-1.0	64.5	50.6	54.9	170.1	104.4	124.0	128.9	357.5
大船渡	3.5	0.7	0.9	1.7	36.9	43.5	58.2	138.6	139.6	148.6	141.9	430.1
宮古	3.0	0.2	0.3	1.2	39.9	52.6	79.6	170.9	151.6	163.6	151.2	466.6
仙台	4.3	1.5	1.7	2.5	26.4	33.1	48.4	109.0	144.7	151.3	151.9	447.7
石巻	3.4	0.5	0.9	1.6	24.8	33.1	44.3	101.9	155.4	167.6	162.6	484.9
山形	2.4	-0.5	-0.2	0.5	77.2	75.4	70.2	222.7	85.1	89.6	99.3	273.2
新庄	1.4	-1.3	-1.0	-0.3	210.9	181.4	145.3	534.8	37.3	43.1	56.3	136.5
酒田	4.3	1.5	1.4	2.4	201.9	152.6	115.3	467.9	44.8	39.9	60.0	144.7
福島	4.2	1.4	1.8	2.4	32.5	43.8	49.8	126.5	130.7	136.6	144.3	411.4
若松	1.9	-0.7	-0.4	0.3	83.3	80.9	70.2	234.1	72.0	80.9	97.3	249.0
白河	2.7	0.2	0.5	1.1	25.0	30.6	41.4	98.5	157.8	160.9	152.4	470.3
小名浜	6.1	3.6	3.7	4.4	35.0	46.2	61.9	143.6	184.8	189.6	175.0	547.3

	降雪量(cm)			
	12月	1月	2月	12月～2月
青森	170	250	205	626
深浦	77	123	114	315
むつ	101	175	160	440
八戸	52	95	103	249
秋田	79	142	120	342
盛岡	68	106	98	274
大船渡	11	23	27	61
宮古	19	43	72	134
仙台	14	29	31	74
石巻	7	13	24	44
山形	92	163	147	403
新庄	168	283	242	694
酒田	64	138	119	321
福島	35	86	73	195
若松	100	185	160	447
白河	25	58	51	135
小名浜	1	5	7	12

欠測により平年値を求めるための資料年数（観測値のある年数）が各月毎に異なることなどにより、3か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

（2）1971～2000年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、降雪量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要素	予報対象地域	12月	1月	2月	12月～2月
気温平年差()	東北地方	-0.3～+0.5	-0.3～+0.8	-0.4～+0.5	-0.3～+0.4
	東北日本海側	-0.2～+0.6	-0.3～+0.7	-0.3～+0.4	-0.4～+0.4
	東北太平洋側	-0.1～+0.5	-0.3～+0.8	-0.4～+0.6	-0.2～+0.5
降水量平年比(%)	東北地方	80～107	81～103	80～109	88～105
	東北日本海側	88～106	93～109	95～108	92～102
	東北太平洋側	69～116	62～104	69～117	79～112
降雪量平年比(%)	東北地方	72～112	85～106	78～118	86～113
	東北日本海側	78～113	96～110	87～115	89～110
	東北太平洋側	57～114	72～102	73～119	78～116

＜参考資料（利用上の注意）＞

（1）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分（それぞれ33%）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（2）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30%、40%）の確率しか付けられません。

（3）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。

東北地方 3か月予報解説資料（12～2月）

平成22年11月25日 仙台管区気象台

1. 向こう3か月の確率予報の特徴

12～2月	気温は、各階級の確率の偏りは小さい。降水量は、各階級の確率の偏りは小さい。東北日本海側の降雪量は、平年並または少ない確率とともに40%です。
12月	気温は、各階級の確率の偏りは小さい。降水量は、各階級の確率の偏りは小さい。
1月	気温は、各階級の確率の偏りは小さい。降水量は、各階級の確率の偏りは小さい。
2月	気温は、平年並または高い確率とともに40%です。降水量は、各階級の確率の偏りは小さい。

2. 数値予報（アンサンブル予報）による海洋と大気の流れの予想

数値予報による海面水温偏差の予想（右上図）では、赤道域は太平洋中部から東部にかけて顕著な負偏差、太平洋西部では正偏差で、ラニーニャ現象がこの期間継続する予想となっている。

海面水温分布に対応して、熱帯の降水量（図略）はベンガル湾からフィリピン付近で平年に比べて多

くなっている。その影響で偏西風はチベット付近から華南付近にかけて北に持ち上げられて蛇行し、その東の日本付近で南に蛇行する流れとなる。500hPa高度（右中図）は偏西風の南への蛇行に対応して日本付近は負偏差となっている。

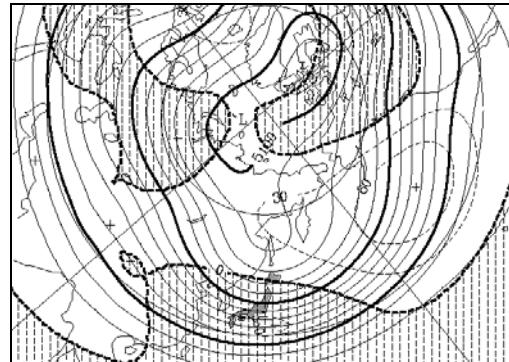
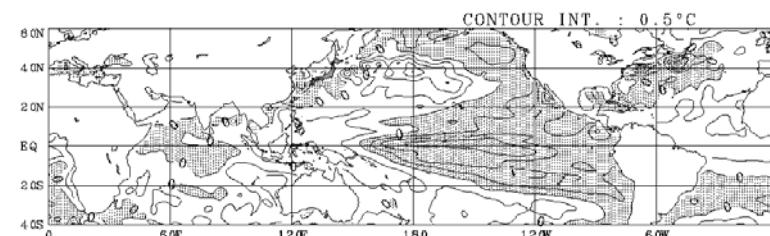
海面気圧予想図（右下図）では、アリューシャン近海付近は明瞭な正偏差で、アリューシャン低気圧が弱い予想となっている。日本付近は日本東を中心とする強い負偏差におおわれている。寒気を伴った低気圧が日本に近い位置で発達し、一時冬型の気圧配置が強まる見込み。

月別の海面気圧予想図（図略）などからは、

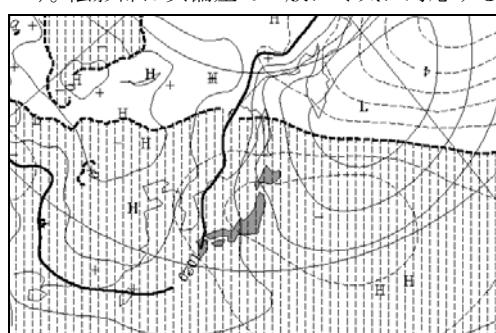
12月：東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べ曇りや雪または雨の日が多いと予想される。日本の東を中心とする強い負偏差におおわれており、低気圧が日本に近い位置で発達する。低気圧の影響を受けやすく、一時冬型の気圧配置が強まる見込み。

1月：東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いと予想される。日本の東を中心と負偏差が予想されており、冬型の気圧配置となりやすく、一時強まる見込み。

2月：東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いと予想される。日本の東を中心とする強い負偏差におおわれておらず、低気圧が日本に近い位置で発達する。冬型の気圧配置となりやすいが、平年より弱い可能性がある。



3か月平均の500hPa高度と偏差の予想図
実線は等高度線（間隔60m）、点線は偏差（間隔30m）。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応する。



3か月平均の海面気圧と偏差の予想図
実線は等圧線4hPa毎、点線は偏差1hPa毎。
陰影部は負偏差

<参考資料>

平年の天気出現日数（日）

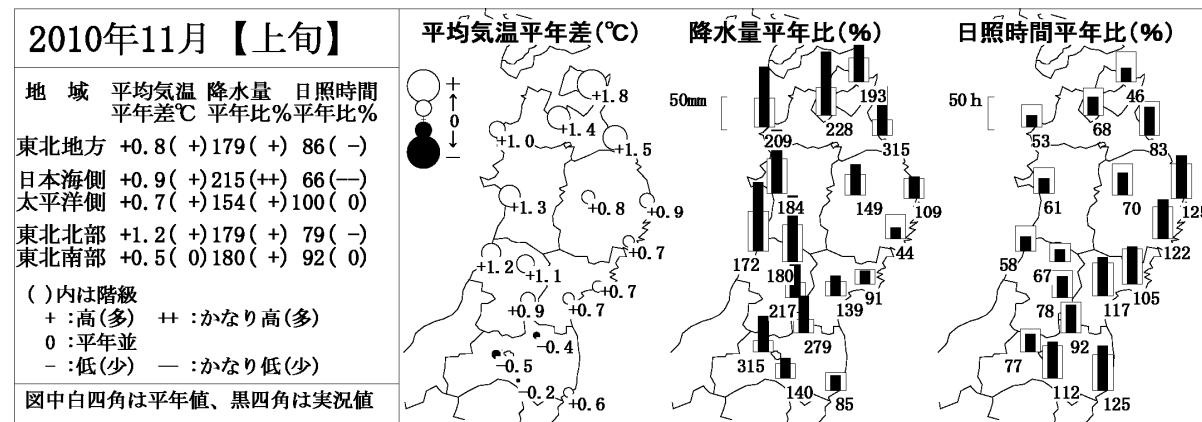
	青森		秋田		盛岡		仙台		山形		福島	
	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
12月	5. 6	21. 2	4. 2	21. 5	14. 5	11. 2	19. 6	4. 3	10. 1	13. 5	17. 7	6. 0
1月	5. 5	22. 1	3. 6	20. 6	17. 0	9. 7	20. 9	5. 5	10. 9	15. 2	18. 6	7. 9
2月	6. 4	18. 9	5. 5	16. 9	16. 1	8. 3	19. 6	5. 4	11. 3	12. 6	18. 4	7. 2

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

3. 最近の天候経過

11月上旬：この期間、東北日本海側は低気圧や気圧の谷の影響を受け、また気圧の谷の通過後は冬型の気圧配置となって曇りや雨の日が多くなった。東北太平洋側は高気圧におおわれ晴れの日が多くなった。1日から2日にかけ日本海を東進した低気圧や本州の南岸から三陸沖を北上した低気圧の影響で各地で大雨となった。9日から10日にかけ低気圧が発達しながら北日本を通過した影響で東北日本海側を中心に大雨となった。

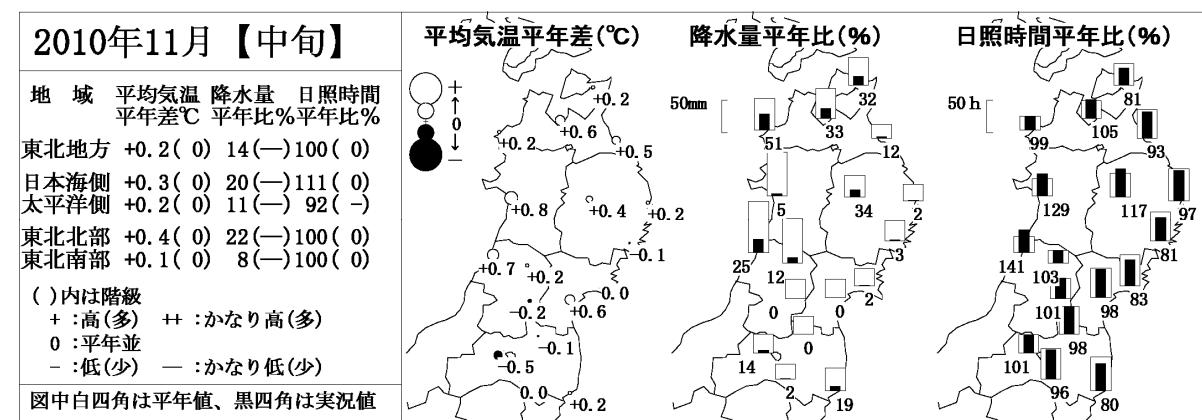
平均気温は東北北部で高く、東北南部で平年並。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で平年並。



11月上旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

11月中旬：期間の前半は気圧の谷の影響で曇りの日が多く、東北北部で雨や雪の日があった。後半は高気圧におおわれ晴れの日が多くなった。気温は、期間の前半は南から暖かい空気が入り高温となつたが、期間の後半は寒気の影響で低温となつた。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北地方でかなり少ない。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。

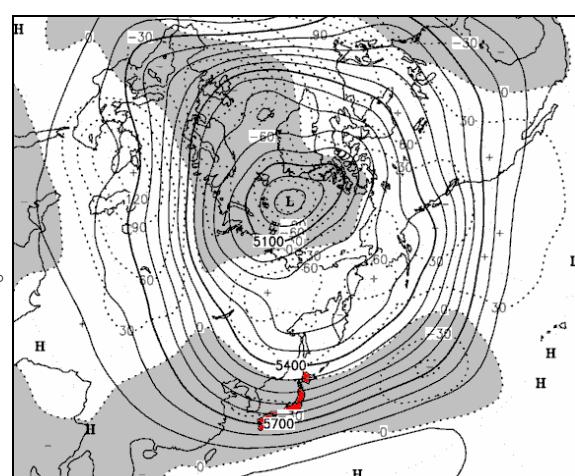


11月中旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

4. 今月の循環場の特徴

11月（20日まで）：500hPa高度では、北海道以北が正偏差、本州以南が負偏差となり、北から寒気が南下しにくい流れとなつた。

東北地方では、周期的に低気圧や気圧の谷が通過した。気圧の谷の通過後は冬型の気圧配置となつて、東北日本海側では曇りや雨の日が多くなつた。



11月1日～20日の平均500hPa高度
実線は等高度線（間隔60m）、点線は偏差（間隔30m）。
陰影部は負偏差。